

条件反射制御法学会オンライン研修会 シリーズ 3 講義 7

疑似ステージ

重要図

疑似ステージ

1. 標的行動の疑似(対方向性)

行動の最終部分を再現する

本物に似せた道具や場所を使う

制御刺激

2. 辛かったことの書き出し(対駆動性)

簡単に100話

詳細に100話

三種郵便物



暇な日

入手金

電話

購入

準備

注射

報酬

反射連鎖

暇な日

失敗させる

入手金

電話

購入

準備

注射

報酬

刺激

反射連鎖

暇な日

入手金

電話

購入

準備

注射

報酬

反射連鎖

治療者による当初の指導

20分間、制御刺激をしていないことを確認

1回目は完了させる 口渴、発汗、動機、
喜び、昂ぶり、安堵、欲求、幻視、幻聴

2回目は中断 違和感、欲求、苦悩

中断は最終動作まで数動作を残す

治療者が指示して制御刺激 安堵

通常の生活空間へ移動 さらに安堵

疑似の長所と短所

長所

疑似物質、道具等の刺激が保たれる
反応を低減させ続ける

短所

刺激が限定的

・日常に潜む刺激を網羅しない

働きかけ：患者は、毎日、回数をつける
職員が回数票を毎日、見て、数える

辛かったことの簡単な書き出し

辛かったことを次の要領で簡単に書き出してください(1~3行)。

- ・いつ(○歳の、あるいは○○年頃のあの日)
- ・どこで
- ・誰と
- ・何があった

例1 ①小学校1年生の入学式の日に

- ・入学式で校長先生の話が長かったので
- ・おしっこをもらした

上を100話書き出してください。

辛かったことの詳細な書き出し

すでに書き出した辛かったことのそれを原稿用紙3枚程度(800～1200字)に膨らませて書いてください。

この作業は午後6時以降はしないでください。

気分が落ちていたら、すでに書き出した良かったことを読んで下さい。